

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

| 学校名 | 埼玉県立富士見高等学校 | | Cグループ |
|------------|--|--|-------|
| 項目 | 調査の観点 | 取組状況に関する所見 | |
| 目指す学校像 | 目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。 | 学校の現状と目指す方向が明確に示されている学校像である。「規律ある落ち着いた環境で」という文言を新たに加えて、生徒の実態や学校の方針に応じた適切なものとなり、生徒・保護者・地域などの期待に十分応えようというメッセージを伝えるものとなっている。 | |
| 重点目標 | 学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。 | 取り組むべき課題が分かりやすい語句で具体的に示され、日々の教育活動の指針となる目標となっている。生徒・地域などの学校関係者や教職員の意見や要望などを反映した、学校の中期的な目標を明確に示すものとなっている。 | |
| 重点目標達成への取組 | 重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。 | 分掌・学年等が連携しながら目標達成を目指す体制が整えられ、進路指導などにおける方策が積極的に実施されている。学校自己評価システムが組織的に運営されており、学校関係者の意見などがうまく活用されている。 | |
| | 方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。 | 授業5分前着席、登校指導など様々な方策が実施され、具体的な成果も上がっている。これまでの積み重ねを基にもう一步進めた方策を策定するとともに、教職員間などで目標の達成イメージが共有できるような分かりやすい評価指標を設定することが望まれる。 | |
| | 校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。 | 校長は学校自己評価システムを生かした学校経営を行い、的確な取組を組織的に進めるとともに、感謝状の発行などにより生徒のモチベーションの向上などに努めている。校長的的確なリーダーシップの下、教職員が教育相談などに共通理解を持って組織的・計画的に取り組んでおり、情報共有を基にした丁寧な教育活動が行われている。 | |
| | 学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。 | アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。前年度の達成状況の検証を踏まえて、方策の見直しを検討し、アクティブ・ラーニングなどの取組においてスパイラルアップを図るようにはしていただきたい。 | |
| 特記事項 | | | |